

事業番号	09 04 38	事業改善シート (28年度実施事業分)		<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	諏訪湖環境改善対策事業			担当課	部局	農政部	
総合5か年計画	プロジェクト			課・室	園芸畜産課		
	施策の総合的展開	1-3 夢に挑戦する農業		E-mail	enchiku@pref.nagano.lg.jp		
人口定着・確かな暮らし実現総合戦略	信州創生の基本方針	3-3 活力と循環の信州経済の創出		実施期間	H25 ~		
	施策展開	3-(1) 経済構造の転換 ア 県内産業の競争力強化 ウ 農業の競争力強化					

1 事業の概要

目指す姿	行政機関、関係団体及び市民団体等が協働して、適切な水質の実現、均衡のとれた生態系の確保、やすらぎを与える美しい水辺空間の創造等、諏訪湖の環境改善を行い、地域を活性化させる。						
現状 (予算編成時)	○水質：COD、全窒素は環境基準を未達成 ○貧酸素：魚介類への被害、湖底の溶存酸素濃度の環境基準項目への追加 ○漁場の活性化：貧酸素による貝類・エビ類への被害、漁獲量の減少(S45:53t→H25:27t) ○ヒシ対策：ヒシ対策や均衡のとれた水草の生態系維持の検討 ○浄化工法：第6期諏訪湖水質保全計画で新たに実施する浄化工法の効果や課題等の検討						
県が関与する理由	県関与の必要性あり	【左記の説明、根拠法令等】 諏訪湖環境改善行動会議(会長:諏訪地方事務所長、顧問:長野県知事)により、行政と民間が協働して諏訪湖の環境改善に取り組む必要がある。 根拠法令等:諏訪湖環境改善行動会議規約					
成果目標・事業内容	① 成果目標(H28) 諏訪湖の漁場を活性化するため、アドバイザーから助言を得て具体的な取組を実施する。 ・アドバイザー助言に基づく漁業協同組合等の取組の実施 1件						
	② 事業内容 (単位:千円)						
		項目	実施方法	H28事業実績		H29	
				(当初)	(決算)	(当初)	
		漁場活性化のための取組検討	直接	漁場の活性化のための取組についてアドバイザーから助言を得た。(H28.10 日本シジミ研究所中村所長)	74	67	
				合計	74	67	
						74	
事業コスト	区分(単位:千円)		27年度	28年度	29年度		
	予算額	前年度繰越					
		当初予算	74	74	74		
		補正予算					
		合計(A)	74	74	74		
	Aの財源	一般財源	74	74	74		
		県債					
		国庫支出金					
		その他	0	0	0		
	決算額(B)	81	67				
概算人件費	職員数(人)	0.90	0.90	0.90			
	概算人件費(C)	7,448	7,123	7,123			
概算事業費(B(A)+C)	7,529	7,190	7,197				
		成果目標の達成状況					
		項目	H26末	H27末	H28		H29
					目標	成果	達成状況
		漁協等の取組の実施	1件	1件	1件	1件	達成
		信州ブランド魚生産量	-	345t	-	376.4t	-
目標に対する成果の状況	漁場活性化の取組・活動として貝類生態学の専門家をアドバイザーとして招聘し、二枚貝の生息環境改善方策について助言を得て、二枚貝放流実証試験の一助とした。						

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施
	官民協働による漁場活性化の取組として、引続き事業を実施していく。